

高速仕分け件数9.1%増

京ト協連 利用額は12%アップ

【京都】京都府トラック事業協同組合連合会(上田竜司会長)は16日、理事・

上田会長が「高速利用額が増えており、少しは景気が良くなったのかと感じて

後、さらに値上りかじりもとも予想され、厳しい状況が続く。日貨協連で計画している日貨カードの取り扱いを開始する時には協力をお願いしたい」とあいさつ。高速道路通行料金仕分け件数は、5協組で93万63

9増、千戸増々4万、8万円と12%アップした。また、資材幹旋事業で、新たにスマートフォン(高性能携帯電話)を活用したアルコール検知器を取扱商品に加えることを決めた。(落合 涼二)

り、ビジネスへの利用も模索されている」と急速に進展するIT環境を強調。その上で、トラック事業者が課題に挙げる経営管理、事業収益の把握、サービス強化、CSR(社会的責任)対応などでの活用事例を説明した。

自身が企業にヒアリングし、それぞれのシステム概要、導入コストや期間、効果をまとめたテキストを配布。保有車30両以下の取り組みも多く掲載されているため、参加者は熱心にメモを取りながら聴講していた。

なお、資料は全ト協のホームページ(HP)からもダウンロードできる。「見たい項目をクリックすれば、そのページにジャンプするので、使い勝手も良いはず」とPRした。

(河野 元)

GPSによる車両管理について説明する住信基礎研究所の伊藤主席研究員



付加価値戦略を紹介

セイコー運輸 宮高専務 大商大で特別講師

【大阪】セイコー運輸(宮高浩社長、大阪市住之江区)の宮高専務は17日、大阪商業大学(東大阪市)の公開講座「地域産業振興論」で特別講師を務めた。

宮高氏は「運送会社の付加価値戦略」をテーマに、高齢者に特化した引っ越しサービス「シルバー住むぶ」と時間課金制トラックレンタルサービス「タイムレンタル住むぶ」を始めたきっかけや具体的なサービス内容などを説明。両サービスの事業領域の拡大に向け、ことしから全国各地の

運送事業者と業務提携に乗り出したことも紹介した。銀行員時代に新卒採用を担当していた経験を踏まえ「志望動機よりも自己PRが大切。学生時代に『こんなことをしてきた』と、自分の言葉で熱く語れるものをつくってほしい」とアドバイスした。

(水野 正博)



学生ら200人を前に講義する宮高専務

事故抑止さらに努力

ローラー作戦で116件獲得

近畿共済

【大阪】近畿交通共済協同組合(坂本克己理事長)

は16日、理事会を開き、中間決算などを承認した。

坂本理事長が「荷動きが低迷する一方、安全と環境にかかるコストは増え続けている。厳しい経営環境が



「今後ともみなさんの協力を得ながら契約拡大とサービス充実を図る

また、2008年から取り組んでいる契約拡大に向けたローラー作戦では、これまで2854事業者を訪問した結果、116件の契約獲得につながった。

坂本氏は「今後ともみなさんの協力を得ながら契約拡大とサービス充実を図る

事業を通じて社会貢献を実現したり、独自性を生かして新しい事業を展開したりする中小企業の経営者らへの

「新しい産業の創成」と題した同講座は、毎月1回、

「新しい産業の創成」と題した同講座は、毎月1回、

「新しい産業の創成」と題した同講座は、毎月1回、

「新しい産業の創成」と題した同講座は、毎月1回、